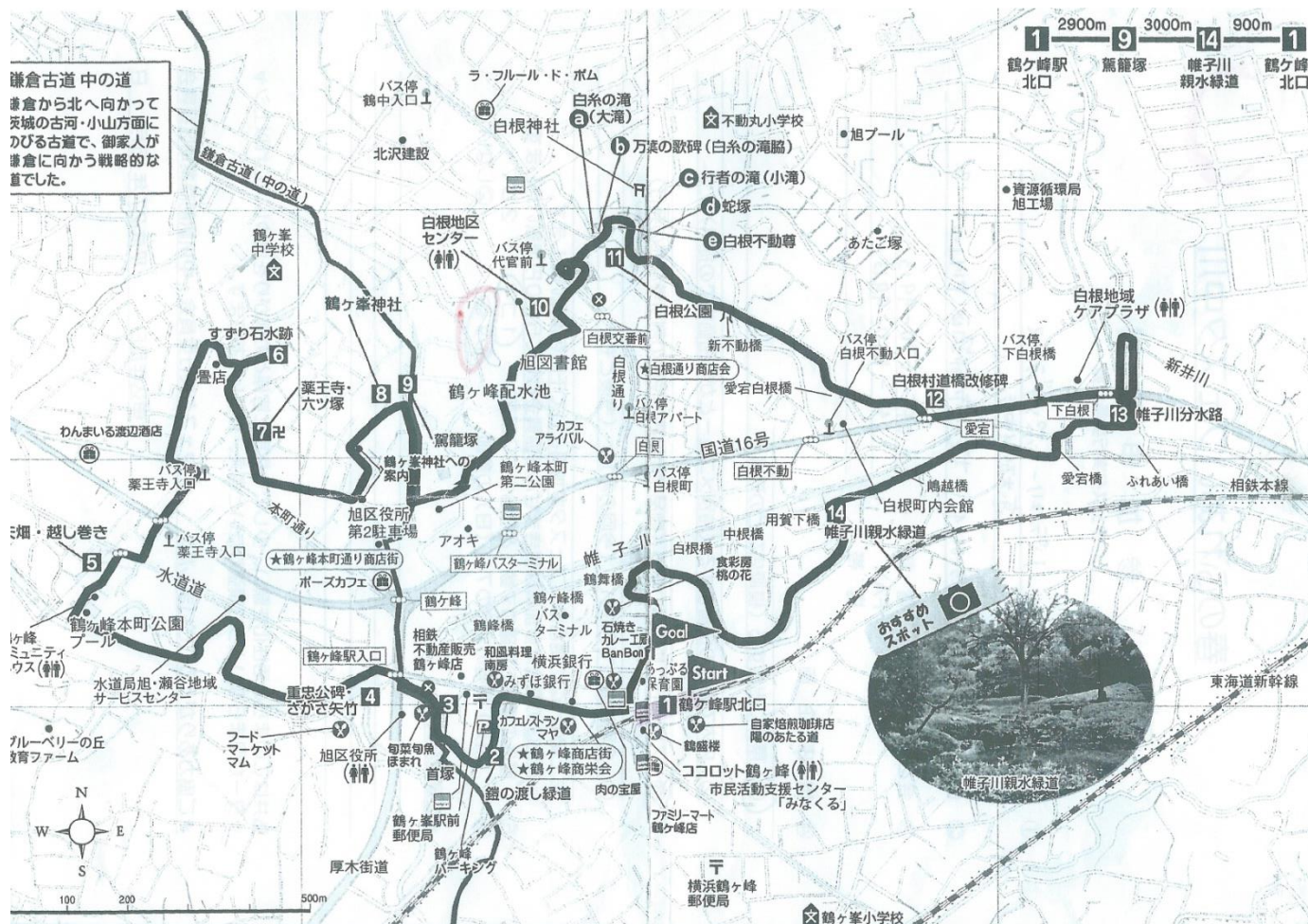


⑥鶴ヶ峰周辺と富山重忠の史跡を訪ねる

催行日 6月8日(水)

鶴ヶ峰駅(9時)～鎧の渡し緑道～首塚～富山重忠公の碑～鶴ヶ峰コミュニティハウス～薬王寺～鶴ヶ峰神社・駕籠塚～白根地区センター～万葉の歌碑～白糸の滝～白根神社～白根不動尊～蛇塚～白根村道橋改修碑～帷子川親水緑道～鶴ヶ峰駅 解散



上図の「⑥すすり石水跡」「⑩帷子川分水路」はスキップします。



駅北口正面の商店街を抜け広い通りに入る 信号を渡り振り向くと大きなマンションが(駅の目印となります)

信号を渡り右手に横浜銀行・みずほ銀行を見て、その先の左側の緑道に入ります。ここは帷子川を埋め立てて造られた緑道です。昔、鎧をつけて渡ったという話から「鎧の渡し緑道」と命名されています。突き当りの正面に旭区総合庁舎があり、その塀の向こう側に首塚の標識があります。



ここから緑道に入ります



帷子川を埋め立ててできた鎧の渡し緑道

帷子川ルート

鶴ヶ峰駅へ ↓ 0.2km

帷子川流域へ → 6.5km

旭区総合庁舎
Asahi Ward Office 200m ↑

旭区役所
Asahi Ward Office

旭消防署
Asahi Fire Station

旭福祉保健センター
Asahi Health & Welfare Center

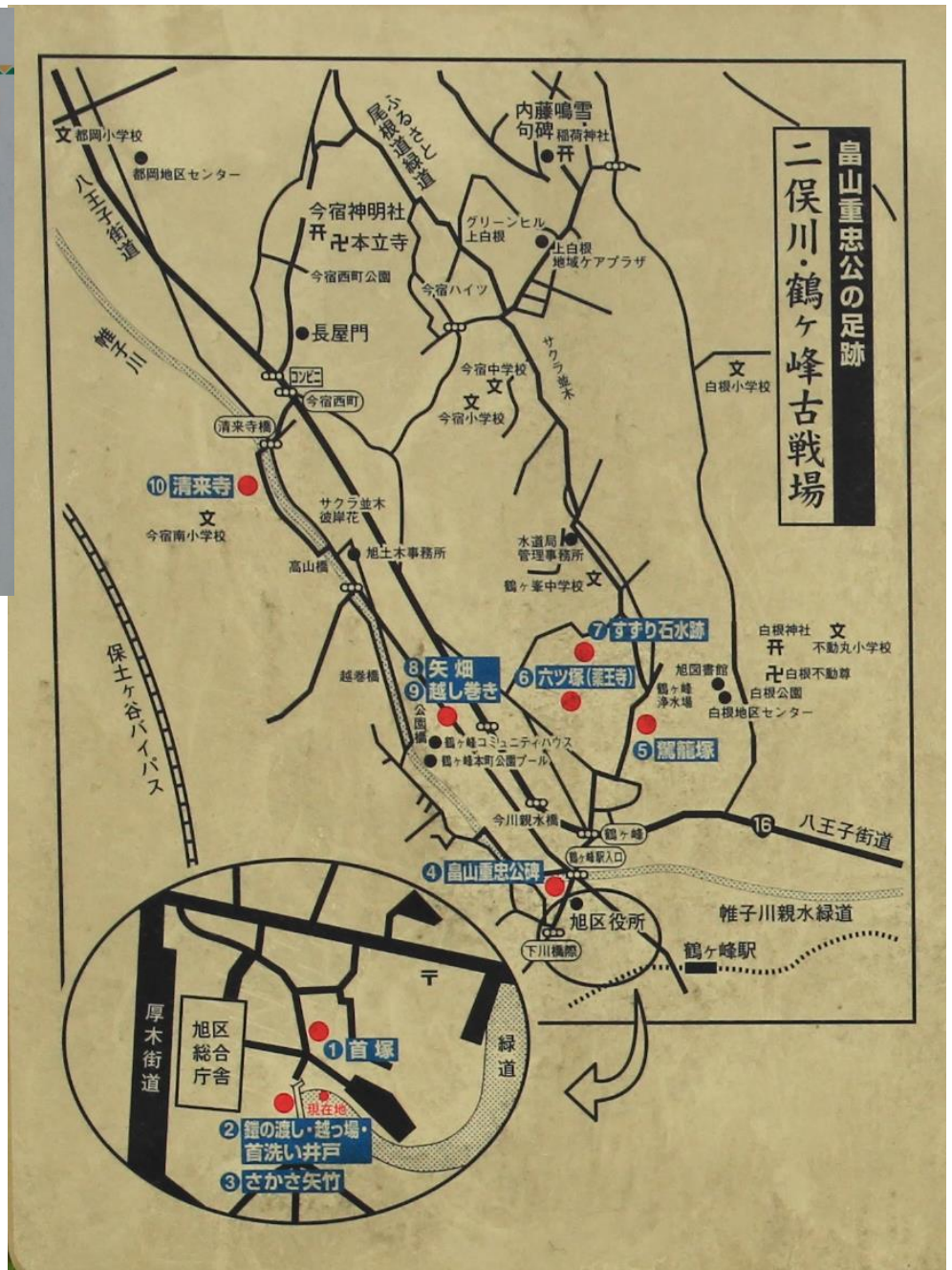
旭公会堂
Asahi Public Hall

首塚
Head Mound (Kubitsuka) 200m ↑

畠山重忠公碑
Hatakeyama Shigetada Memorial Monument 220m ↑

ぱれっと旭
旭区福祉保健活動拠点
Palette Asahi 330m ←

緑道に入りにくにある案内板



【畠山重忠公について】

畠山重忠公は鎌倉時代の武将で、源頼朝の忠臣として幕府の創設にも尽くし、智・仁・勇を兼ね備えた武将として名声をはせていました。しかし幕府の実権を巡る争いにまきこまれ、旭区の二俣川付近で戦死しました。

区内の二俣川から鶴ヶ峰にかけては、重忠公ゆかりの史跡が多く残っています。これらの史跡は、旭区民が重忠公に親しみをもち、大切に守ってきたものです。

① 首塚

重忠公の首が愛甲三郎によって斬られ、祭られた所といえます。今は西向きですが以前は南を向いていたそうです。

② 鎧の渡し・越っ場・首洗い井戸

鎌倉街道が帷子川を渡る場所でした。以前は川幅も広く、武士がここを渡るときに頭に鎧をのせて渡ったと伝えられています。ここにはまた重忠公の首を洗い清めたといわれる井戸がありました。以前は河原に直径1m程の穴があり、水が湧いていたといいますが、川の流れが変わって失われてしまいました。

③ さかさ矢竹

重忠公が矢に当たって討ち死にする前に、矢を2本地面に突き刺したものが根つき、毎年2本ずつ増えて茂り続けたといわれています。

最近では見る事が出来なくなりましたが、平成17年6月22日、重忠公没後800年にあたり、さかさ矢竹の再びの繁茂を期待して、畠山重忠公碑の横に植竹されました。

④ 畠山重忠公碑

昭和30年6月22日、重忠公没後750年を記念し、地元・鶴ヶ峰と埼玉県川本村の有志により建立されました。

⑤ 駕籠塚

重忠公の内室「菊の前」は合戦の報に接し、急ぎ駆けつけました。しかし、この地で重忠公の戦死を聞いて自害して果て、その場所に駕籠ごと埋葬されたといわれています。以前は浄水場の中に周りを竹で囲まれた大きな塚があったそうです。昭和30年に場外に移され、その後昭和49年に現在の姿に整備されました。

⑥ 六ツ塚（薬王寺）

重忠公をはじめ、一族郎党134騎を埋めたと伝えられている6つの塚があります。

霊堂である薬王寺には重忠公の霊が祭られており、毎年命日の6月22日には旭区観光協会の協力のもと、盛大な慰霊祭が催されます。

⑦ すずり石水跡

重忠公が陣をはった時、この水で墨をすったと伝えられています。谷戸の奥にあたる場所で、昭和初期まで崖からの湧き水があったそうです。

⑧ 矢畑

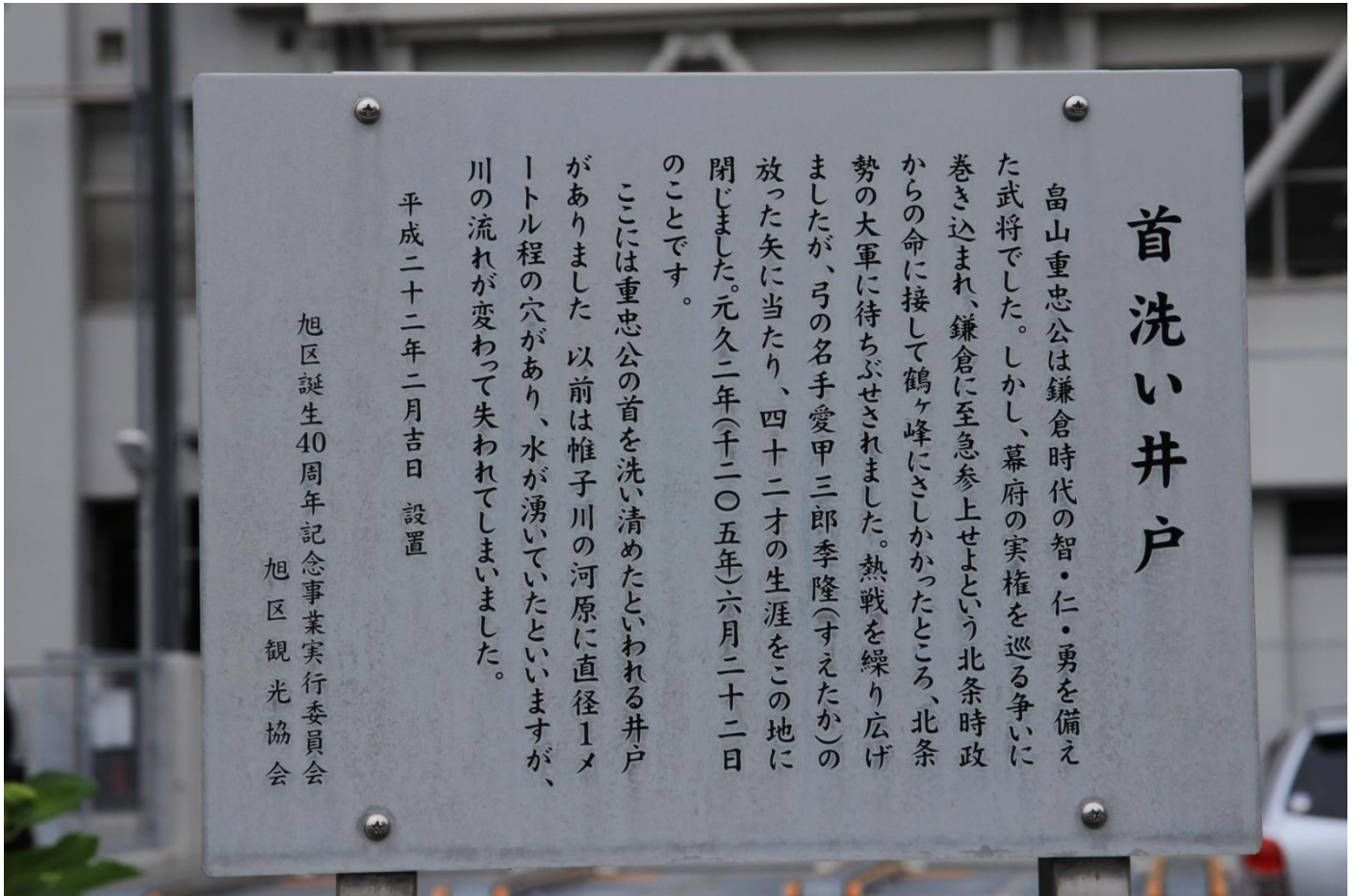
⑨ 越し巻き

二俣川の合戦のおり、北条勢から射た矢があたり一面に落下し、矢の畑のようになったといわれます。また、このあたりで取り囲まれたということで越し巻きといえます。一説には矢が腰巻のようにくるりと取り巻いたためこの名ありとも伝えられます。実際の正確な場所は不明です。

⑩ 清来寺

江戸時代末期に、重忠公の武勇をたたえるために編集された「夏野の露」という絵巻が伝えられています。

境内には、鎌倉時代に、伝令として使っていた鐘があったという鐘楼塚があります。この塚には、重忠公の所持していた観音像が埋められているので観音塚と呼ぶとも伝えられています。



緑道の終点近くに首塚があります。井戸で洗われた首が此処に埋められたのでしょうか？

道を役所に沿って表通りに出ます。厚木街道(鶴ヶ峰駅入口)を渡って直進。しばらく進むと左手に重忠公の碑とさかさ矢竹があります。

さかさ矢竹の由来

畠山重忠は戦に敗れ、死の直前に「わが心正しければ この矢にて枝葉を生じ繁茂せよ」と、矢二筋を地に突き刺しました。やがてこの矢が根付き茂り続けました。そして「さかさ矢竹」と呼ばれるようになりました。没後 800 年に当たり、この地に植え替え育てているそうです。H17. 6. 22



帷子川に沿って進み、途中から右に旧帷子川を埋め立て作った遊歩道に入り、

また元の道に出てきます。今川親水橋を過ぎ、公園橋のところまで川と分かれ右に入ります。鶴ヶ峰本町公園を右に見て広い

通りに出ます。正面に Watt Mann の店があります。右折して直ぐに左折、Watt Mann の正面に出ます。信号を渡り左に、直ぐに右に階段を上がります。16 号線に出て薬王寺入口バス停の先を左に入れば薬王寺が右に現れます。



帷子川に沿って進み、途中から緑道へ



公園橋のところまで川と分かれ右に入り、16 号線に出ます



薬王寺の境内には重忠公の塚が 6 か所あり、これを六つ塚と呼んでいます。そして少し戻って左に進むと鶴ヶ峰神社の案内板があり、それに従って細い道を上りきったところに鳥居が二つ見えてきます。お参りがすんだら済んだら、神社の脇を更に上っていくと、突き当りに「駕籠塚」があります。

*これは重忠公の死を伝え聞いた妻が駆けつけてみると、あまりにも凄まじい最後を見て落胆し、自刃してしまいます。これを憐れんで駕籠ごと埋葬したとのことです。



上の写真は薬王寺とその境内にある六つ塚そして鶴ヶ峰神社とその脇の坂道と、上りきったところにある駕籠塚、その先の「鶴ヶ峰配水池」工事現場の塀の脇のタンポポの道です。そこを抜けると最高地点で素晴らしい展望が目に飛び込んできます。さらに進むと左手に公園に下る階段が現れます。運動場や子供の遊びがあり、右手に見て限りなく下っていくと「白根地区センター」に到着です。ここでしばらく休憩です。





地区センターを出ると眼下にバス通りが見えています。この道をスロープで反対側にわたり、林の中を進むと白糸の滝が現れます。周囲は紅葉に囲まれていて、秋にもう一度訪れたい場所です。この白根公園を下りきったところに万葉の歌碑があります。

*これは昔、防人として九州へ出かける夫の妻への思いを綴った歌です。「心配するなよ、元気の帰ってくるから・寂しい時は西の山にかかる雲を見て私だと思ってください」と書かれています。これに対して妻が送った歌には「あなたが元気に帰ってくるまで、貴方のことを思いながら帯も解かず寝て、待っています」と書いたそうです。この当時は出張の費用や食料もすべて自弁で、途中で病になったり、餓死したりして行きつかなかった人も多くいたそうです。その先の急な階段を息を切らせながら上り詰めたところに白根神社があります。そしてまた階段を下って川に沿って下っていきます。この周辺は紅葉が多く見られます。



龍泉橋のたもとにある案内板を確認して進むと直ぐに白根不動尊があります。境内には大きな横浜市指定の銘木「いろはもみじ」があります。その裏手に蛇塚があります。振り向くと水道橋(相模湖から送られてくる)が奥に通っています。不動尊の裏手にある蛇塚すぐ後ろに水道橋が架かっています



白根不動尊の境内には「イロハモミジ」も



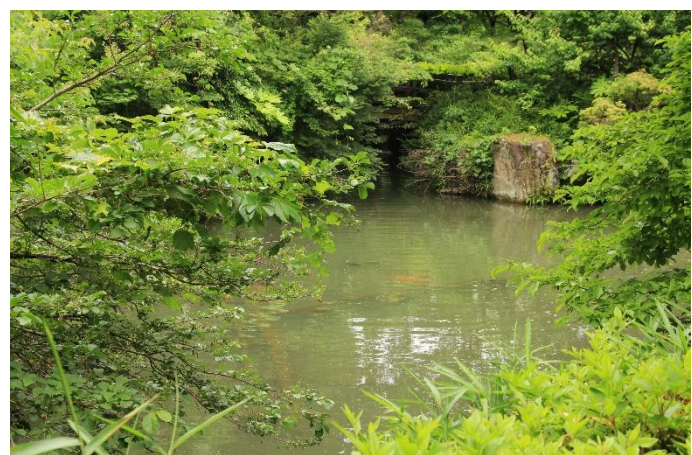
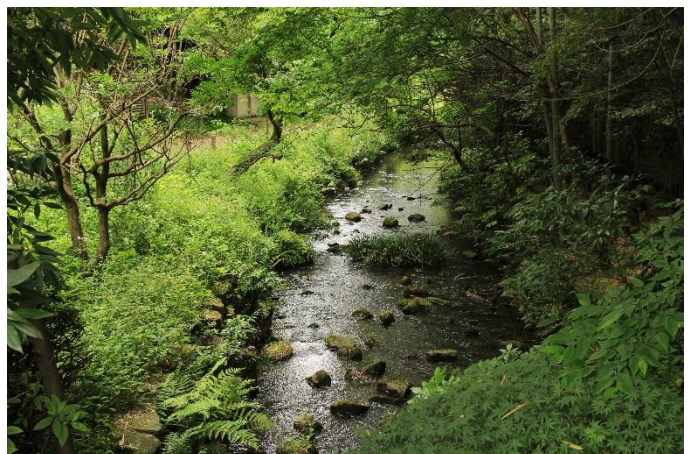
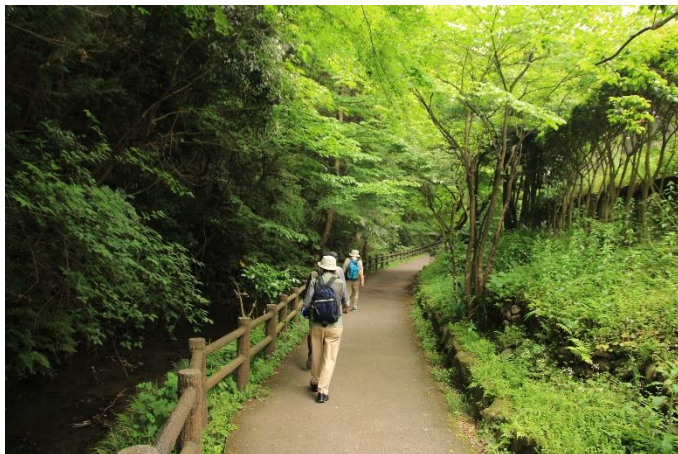
白糸の滝より流れに沿って下ります

さらに川に沿って下り、新不動橋を渡り、中堀川にかかる不動橋を過ぎて「不動尊入口」の案内を確認。愛宕の信号に出ます。信号を渡ると帷子川に合流します。そこを過ぎて国道16号線に出た左側に「白根村道橋改修碑」があります。信号を渡って右へ、直ぐに左折して帷子川に沿って下り、用賀下橋のところ「帷子川親水緑道」に入ります。素晴らしい小道の流れに沿って進みます。池と庭園のあるゾーンで終点。トイレもあります。階段を上って少し進めば鶴ヶ峰バスターミナルです。



親水緑道入口

この緑道は帷子川の改修に伴い作られた緑道で、可愛い流れに沿って進めば、鶴ヶ峰駅やバスターミナルに出ます。
快適な小道が続き何度でも歩きたいところです。



C班の方のコース

全コース 約3時間を要しますので、C班の方は途中ショートカットをして歩きます。アップダウンの負荷のかからないところを歩きます。リーダーに従って歩いてください。なお、暑くなるので飲み物は必ずご持参ください。

鈴木